

## 自己評価

## 1 学校教育目標 略

2	評価する領域・分野	環境・管理	
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・大多数の生徒は清掃が十分されていると思うし、さらにきれいにしたい意識を持っている反面、昼食時の包装袋などのゴミをゴミ箱に捨てないでポイ捨てをする人が若干いることは非常に残念である。	
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	明るく清潔な学習環境(学校生活)を確立するために、全生徒一人ひとりが美化意識を持ち、自ら校舎をはじめ公共施設や地域社会などでもゴミを捨てない心優しい生徒を育成する。	
5	重点目標を達成するための校内における組織体制	・議題提案 分掌会議(環境管理部) 企画委員会 職員会議 ・生徒への徹底 環境委員会(1年ゼクラス 2名、2・3年ゼクラス 1名) 各HR	
6	目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
	(1)日頃から「汚さない」意識を持たせ、通常清掃においても分別回収の徹底を図り、校内美化とリサイクル活動の推進に努める。 (2)防災訓練を通して、自衛消防組織の危機管理機能を確認し、さらに命の大切さを自覚させる。また、消防署と連携して訓練・研修の充実に努める。	(1)来校者及び保護者の皆様から、教室をはじめ校内がいつも綺麗で、また気持ちよく来校していただけるような学校づくりに努めているか。 (2)校内だけでなく事故を未然に防止するための安全教育、対策がとられているか。もし、災害が発生した場合に、迅速で的確に一人ひとりが行動ができるか。	
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
	・早朝「ボランティア清掃」、授業終了後の清掃活動や各学期末に行う大掃除がある。また、より活動意識を高めるために「環境委員会新聞」を発行し、生徒に美化意識を持たせるように努めた。 ・一学期・二学期末には防災避難訓練を実施し、緊急時の対応として消火器などの取り扱い方等を取り入れた。さらに、教職員に対しては7月下旬救命救急法講習会を通して災害・事故時への迅速な対応について学んだ。	クラスとして、また生徒一人ひとりが自主的に、清掃活動に取り組むことができたか。さらに、ボランティア活動を地域社会と協力して取り組んでいるか。 指示に従って、迅速で安全に、さらに周囲状況を注視しながら生徒・職員一人ひとりが行動できたか。	A (B) C D A (B) C D
11	成果 ・課題	総合評価	
	校内美化の意識を高めることで、校内外でのゴミが減少化したこと。また、授業終了後の通常掃除を一層徹底することである。さらに、町内の方々と協力して、学校周辺の清掃活動を行った。 防災訓練を通して安全教育の定着化、適切で迅速な行動の育成及び避難経路が確認できた。 生徒の一部には、校内にゴミ「ポイ捨て」をする人がいることは残念で、美化に対する意識改革を、さらに推し進める必要がある。	A (B) C D	
12	来年度に向けての改善方策案		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境委員会の活動を通して美化意識の高揚を図り、より活発化することで全校生徒の意識改革に繋がていきたい。(例:環境美化週間)</li> <li>・全職員・生徒が災害時に迅速に行動できるよう「学校安全マニュアル」を定着させ、防災に対する意識を更に高められるように働きかけたい。</li> <li>・定期的に校内の巡視などを行い、他分掌とも連携を密にし環境管理を徹底したい。</li> </ul>		